

りんごだより

草笛学園 2023年 11月号



色とりどりの落ち葉やさまざまな形のドングリなど、秋の自然は子どもたちにとって宝の山。お散歩や山登りなどを通して、身近な自然に触れる楽しさを感じてみてもいいかもしれませんね。

発達するってどういうこと？

多くの方は「できなかったことができるようになること」が発達だと思っていますよね。でも、人間が育っていく過程では「できなかったことができなくなる」ということが、実はたくさんあります。

離乳食の時には食べていた食材なのに1歳半前後で食べられなくなる子どももいます。母親は「私のしつけが悪いのでは」「私の育て方が悪いのでは」と不安になります。でも母親の接し方や味付けが急に変わるわけではないので、子ども側の問題ということになります。子どもは1歳題でとても賢くなります。犬も猫も「ワンワン」と言っていた子が、犬は「ワンワン」、猫は「ニャーニャ」と区別するようになります。大きさや毛並みもあまり変わらない現在の犬と猫。子どもは何を手掛かりにして区別しているのでしょうか。考えたらすごいですよね。世界の細かい「違い」に気づき始めた子どもは、世界の中から「コレ」と思ったものを選ぶより、あそびもおもちゃも、そして食べ物にも「好き嫌い」ができ始めていくのです。そうしてみると「食べたがらない」というよりも、「賢さ」と「選ぶ力」の賜物ということになります。「自分で選ぶ」ことに意味を感じている子どもに、拒否したものを無理に食べさせようとしても当然嫌がります。私たち大人も、自分の「嫌なもの」を与えられたら当然「イヤ」ですよ。嫌いなものを好きにさせようと無理なことを強いるよりも子どもが選びたい物はどういうものなのか、選ぶものの幅を広げるにはどうしたらよいのかと考える方がクリエイティブですよ。3歳まではトイレのスリッパをそろえていた子が、4歳を過ぎると揃えないどころか、脱ぎ散らすようになっていたりします。だらしくなったの？「厳しく叱らねば」と思う人もいるでしょうね。

3歳までは、大好きな大人のしたことを自らマネして「できるようになること」「で

きたことをほめてもらうこと」に子どもは意味を感じています。4歳を過ぎてくると、大好きな大人以上に仲間のことが気になります。仲間が園庭で遊んでいるとわかれば、心は園庭に飛び、スリッパは後ろにはねのけられることになります。「仲間よりもスリッパが大事」という4歳児はかえって心配ですよ。 「仲間が気になる」という子どものころを踏まえると、「次に使うお友だちのためにスリッパをそろえてね」と指導することになりますが、すぐにはそろえるようにはなりません。仲間は園庭で遊んでいるのですから。目の前にいない仲間のことを考えられるほどに仲間のことがところに位置づいて初めて、スリッパを再びそろえられるようになるのです。

このような人間は単純に「できなかったことができるようになる」存在ではなく、自分が意味を感じたことに主体的になる存在です。新たな意味の世界に入り、いままでの世界に意味を感じなくなれば、いままでしていたことをしなくなったり、その結果できなくなることもある存在なのです。

参考文献：『子どものかわいさに出あう 乳幼児期の発達基礎講座』

近藤直子・著

◎12月のりんご教室のお知らせ◎

りんご①：12月 5日（火）9：20～11：15

→クリスマス製作

りんご②：12月19日（火）9：20～11：15

→クリスマス製作

※持って来るもの…水筒・シューズ・必要に応じて着替え

『参加される皆様へ』 ～ご協力をお願いします～

- お休みをされる場合は、学園までご連絡ください
 - **参加費は、無料です。**製作や、クッキングの活動の時には材料費として100円いただきます。その都度連絡いたします
 - 活動は主に、草笛学園遊戯室での活動となります
 - 水分補給のため、お茶を用意して下さい（ジュース類は控えてください）
 - きょうだい児の参加はご遠慮ください。預け先がない場合は事前にご相談ください
 - トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切ってきてください
- 『感染症対策について』（国の方針に準じて対策を見直しています）
- 参加者・職員共にマスクの着用は自由とします。但し、クッキングの際やその時々感染状況のみで、着用をお願いをする場合があります
 - 原則、大人1人、子ども1人の参加をお願いしてきましたが、今後はその限りとはしません。但し、グループによっては参加者が多い場合がありますので、担当職員にご相談ください。
 - 入室前の検温・申告は不要ですが、朝の検温等、引き続き体調管理をお願いします。37.5度以上の発熱がある場合は参加をお控え下さい
 - 園内の換気や消毒は引き続き継続します。
 - 園舎周りに殺虫剤をまいています。誤って口に入れないように注意して下さい